

# MOTU Pro Audio ドライバについて

MOTU Pro Audio ドライバは、[motu.com/download](http://motu.com/download)、または [motu.com/avb](http://motu.com/avb) よりダウンロードしていただくことができます。新しくなった MOTU Pro Audio ドライバは、Mac/Windows 環境の Thunderbolt、及び USB ポートに対応し、MOTU 社の最新オーディオインターフェイス機器でハイパフォーマンスを実現します。：

モデル	対応バス	OS X	Windows
1248	Thunderbolt USB	10.8、または以降	Thunderbolt: Windows 10 USB: Windows 7、または以降
8M	Thunderbolt USB	10.8、または以降	Thunderbolt: Windows 10 USB: Windows 7、または以降
16A	Thunderbolt USB	10.8、または以降	Thunderbolt: Windows 10 USB: Windows 7、または以降
112D	Thunderbolt USB	10.8、または以降	Thunderbolt: Windows 10 USB: Windows 7、または以降
624	Thunderbolt USB	10.8、または以降	Thunderbolt: Windows 10 USB: Windows 7、または以降
8A	Thunderbolt USB	10.8、または以降	Thunderbolt: Windows 10 USB: Windows 7、または以降
24Ai	USB	10.8、または以降	Windows 7、または以降
24Ao	USB	10.8、または以降	Windows 7、または以降
Monitor 8	USB	10.8、または以降	Windows 7、または以降
Stage-B16	USB	10.8、または以降	Windows 7、または以降
UltraLite AVB	USB	10.8、または以降	Windows 7、または以降
M64	USB	10.8、または以降	Windows 7、または以降
LP32	USB	10.8、または以降	Windows 7、または以降
8D	USB	10.8、または以降	Windows 7、または以降

## 重要：ファームウェアのアップデート必須

新しい MOTU Pro Audio ドライバをご使用いただくには、MOTU インターフェイスのファームウェアをバージョン 1.2.7 以降へアップデートしなければなりません。MOTU インターフェイスがコンピュータ経由でインターネットへ接続している場合は、ウェブアプリケーションの Device タブにある firmware update でファームウェアのアップデートを実行します。MOTU インターフェイスにインストールされた現行ファームウェアのバージョンは、ページの下部で確認することができます。また [motu.com/avb](http://motu.com/avb) では、オフラインのアップデートに必要なファームウェアファイルをダウンロードすることができます。

ウェブアプリケーションを開くには、アプリケーションフォルダ (Mac) / タスクバー (Windows) にある MOTU Discovery アプリを起動します。

## ドライバのインストール

ドライバをインストールするには、[motu.com/avb](http://motu.com/avb)、または [motu.com/download](http://motu.com/download) より MOTU Pro Audio installer をダウンロードし、インストーラーの画面表示に従ってインストールを行います。

☞ 初めてドライバをインストールする際には、MOTU インターフェイスをコンピュータへ接続する前にソフトウェアインストーラーを先に実行してください。

## MOTU Pro Audio ドライバの新機能と改良点

以下は、MOTU Pro Audio ドライバの新機能と改良点です。

### Mac、及び Windows 環境の Thunderbolt 対応

Thunderbolt ポートを搭載した MOTU インターフェイス (1248、8M、16A、112D、624、8A) を Thunderbolt ポート搭載した PC でご使用いただくことができます。この場合、MOTU Pro Audio ASIO ドライバ経由で最大 128 チャンネルのオーディオインプット / アウトプットを供給します。OS X 環境では、MOTU Pro Audio Core Audio ドライバが同様のハイパフォーマンスな Thunderbolt I/O 機能をオーディオアプリケーションへ供給します。どちらの環境も、非常に低いバッファサイズ、及び I/O レイテンシーをホストオーディオソフトウェアへ供給します。

## 業界最速の I/O レイテンシーパフォーマンス

MOTU Pro Audio ドライバは、Thunderbolt、及び USB オペレーションで非常に低い I/O レイテンシーのパフォーマンスを供給します。(OS X と Windows 環境) 例えば 32 サンプルバッファサイズに設定された 1248 インターフェイスでは、Thunderbolt 経由で 1.9 ミリセカンド (Windows 環境) / 1.6 ミリセカンド (OS X 環境) 96 kHz のラウンドトリップレイテンシー (RTL) を実現します。RTL は、アナログインプットから入力されたオーディオシグナルが、Digital Performer のような DAW ソフトウェアを経由してアナログアウトプットから出力されるまでにかかる時間を表します。

レイテンシーについての詳しい説明は、MOTU 機器付属の説明書をお読みください。

## 設定の簡易化

Windows 環境では、Windows のコントロールパネルを使用せずにドライバの設定を可能にしました。ウェブアプリケーションでは、図 1 のようにバッファサイズの設定を行うことができるようになりました。

Windows のコントロールパネルで取り扱っていた従来バージョンの USB Streaming Mode の設定項目も、この変更に伴い不必要になりました。

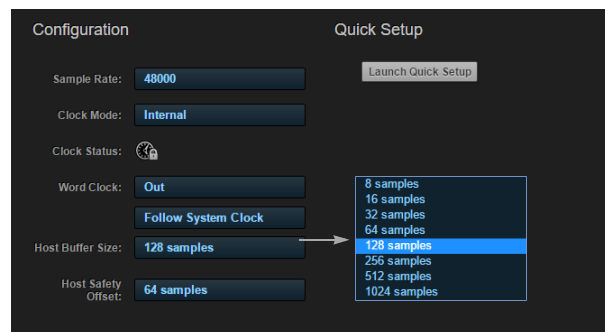


図 1: MOTU インターフェイスのホストバッファサイズの設定。

## Host Buffer Size メニュー

Windows ホストに接続した場合、Host Buffer Size メニュー (図 1 参照) が有効になります。バッファサイズを小さくすると、オーディオのレイテンシーを減らす代わりにコンピュータの処理能力を多く消費するため、作業に支障を来す場合があります。作業環境に合わせた値を選択するようにしましょう。

必要以上にバッファサイズを小さくすると、ホストソフトウェアやコンピュータでの作業に問題が生じる場合があるため、注意しましょう。

レイテンシーについての詳しい説明は、MOTU 機器付属の説明書をお読みください。

海面レベルでは、音は 30 cm (約 1 フィート) をミリセカンドで進みます。10 ミリセカンドのレイテンシーとは、オーディオソースから約 3m (10 フィート) の距離を示します。

## Host Safety Offset メニュー

Windows 環境のホストに接続した場合、Host Safety Offset メニュー (図 1 参照) が有効になります。この設定では、ホストのレイテンシーを調整します。オフセットを小さくすると、オーディオのレイテンシーを減らす代わりにコンピュータの処理能力を多く消費するため、作業に支障を来す場合があります。作業環境に合わせた値を選択するようにしましょう。この設定は、コンピュータのパフォーマンスに大きく影響します。

## WDM/Wave ドライバ対応

MOTU Pro Audio ドライバは、ステレオチャンネル、及びマルチチャンネル (最大 24 チャンネル) の WDM (Wave) 対応オーディオソフトウェアにも対応しています。

## USB オーディオクラスコンプライアントオペレーション (OS X)

1 頁のリストにある全ての MOTU インターフェイスは、OS X の USB オーディオクラスコンプライアント機器です。これらの機器では、特にドライバをインストールする必要が無く、OS X 10.8 (または以降) の Mac へ接続するだけでマルチチャンネルのオーディオ I/O としてご使用いただけます。